

令和3年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県北会場

科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・困難化している。それを解決し、子どもたちが豊かに成長していくためには、地域と学校が連携、協働し、社会総掛かりでの教育が必要なことや自分の地域で行っている事業の意味が分かった。生活の連続性、発達の連続性を大事にするため、学校や保育園、幼稚園と連携し、地域全体で子どもを育てる環境づくりが今後とても重要になっていくと思った。
- ◆ グローバル化、情報化による予測困難な未来に加え、総人口の減少等から様々な問題につながることを学びました。子どもたちへの社会総掛かりでの教育の実現、子どもたちの周りの連携が必要不可欠だと実感しました。学校、家庭、地域、児童クラブの指導方針が違うと子どもたちは混乱してしまうため、連続性に配慮し、学校や保護者との情報交換、情報共有が大切だと思いました。
- ◆ 学校、保育所、幼稚園、地域等、個々でできることには限界がある。子どもの豊かな成長、保護者の安心のためにそれぞれの連携の必要性和その在り方、携わる者としての役割と責任を自覚することの重要性を学んだ。地域総掛かりでの教育の実現を支えるコミュニティスクールという法律に基づいた仕組みが導入されていることや学校との情報交換、情報共有の窓口として地域学校協働活動推進員の存在について知ることができた。
- ◆ 子どもたちを取り巻く環境や、学校が抱える課題の複雑化、多様化を背景に、学校だけではなく社会総掛かりで子どもたちの育ちを支えていくことが求められ、それに伴い放課後児童クラブにおける学校、保育所、幼稚園、地域住民等との連携の必要性和その在り方について理解することができました。自分たちの役割と責任を自覚し、子どもたちと保護者が安心して生活できるよう努めていきたいと思います。
- ◆ 保護者と連携するだけではなく、学校、保育所、幼稚園、地域の方たちとも連携し、子どもたちを取り巻く環境全体で取り組む体制に変わりつつあることを学びました。人口が減少し、地域とのつながりも希薄化する中で、社会全体で子どもたちの成長を支える制度になると知り、責任を持ち心のふれあいができるように支援していきたいと思いました。また、講義の中で「将来、今は存在しない職業に就く」の言葉が興味深かったです。